



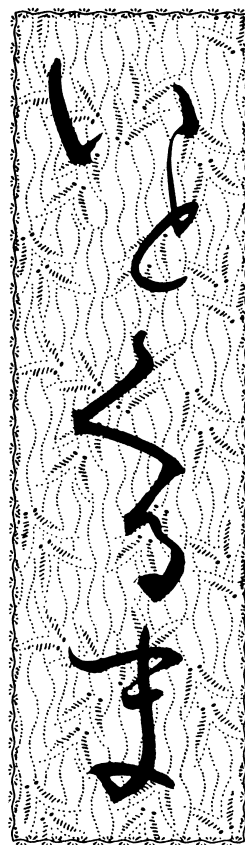
校庭の木々と校舎



桜下の孔雀刺繍額



桜に彩られたシンボルゲート



第 41 号

《発行》
函館大妻高等学校
同窓会
「いとぐるま」編集部
〒040-0002
函館市柳町14番23号
電話 (0138) 52-1890
FAX (0138) 52-1892
印刷 (有)三和印刷



同窓会会長
平田 優子
S 55年卒業(旧姓若山)

校庭の木々の芽も少しづつふくらみはじめ、ようやく春の訪れを感じられるようになりました。同窓生の皆さまにおかれましては、ご健勝にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

この冬の函館は、積雪統計開始以来、最も多い記録的な大雪に見舞われました。除雪が追いつかず至る所に雪山が出来、雪かきや車の運転など皆さまも本当に大変な思いをされたのではないのでしょうか。そのような中、去る二月二十日、母校講堂に於いて「函館大妻学園創立百周年記念事業 函館大妻高校増改築工事安全祈願祭」が執り行われました。学園および工事関係者の方々と共に、本校舎の第一期工事に続き第二期工事事故無く安全に完成の日を迎えられますよう、そして更に充実した教育環境の元で母校が益々発展されることを祈念してまいりました。

また、同月二十八日の同窓会入会式では、「恥を知れ」の言葉と「不撓不屈の大妻魂」を心の糧に、同窓会という年代を超えた繋がりの中で、新入会員の皆さんのはつらつとした若い力を発揮され、創立百周年を迎える母校のお役に立てるよう協力くださいとお願いし、新常任幹事・

幹事五名に委嘱状をお渡しいたしました。急速に少子化が進む中、池田校長先生はじめ教職員の皆さまが、外山ハツ初代校長先生の建学の精神に基づき、日夜努力を惜しまず「社会に貢献できる人材の育成」を目指して手厚く指導している姿が、中学校や地域に認められ、「平成三十年度新入生も昨年同様に確保できる見込です」と卒業式の折にお聞きして安堵すると共に、今し方目にしたばかりの、ハッ先生時代の時代から受け継がれている伝統ある卒業式の光景がよみがえり、式に臨む清々しい卒業生の姿はまさに教職員の皆さまの努力の賜物に他ならないと胸が熱くなり、頭の下がる思いで母校を後にいたしました。私たち同窓生も、「二人一人が函館大妻高校卒業という看板を背負っている」ことを明確に意識して、決して母校の名を汚すことなく日々暮らしていかなければならないと改めて肝に銘じた次第です。

最後になりましたが、昨年七月に開催された同窓会の親睦会で、五月に大妻学園理事長をご勇退された西野鷹志先生に感謝の気持ちを込めて花束をプレゼントさせていただきました。外山茂樹先生が急逝されたからの八年間、渾身の力で学園を支えてくださいました。西野先生、本当にありがとうございました。これからは経営顧問という今まではまた違う角度から、創立百周年に向かって歩みを進めている母校の手を取り背中を押してくださいいますようお願い申し上げます。

同窓生の皆さま、今年は七月七日の七夕に同窓会総会・親睦会が開催されます。織り姫と彦星のように年に一度の再会に胸をふくらませ、笑顔の花が咲くことを楽しみにしております。どうぞお誘い合わせの上、ご出席くださいますようお願い申し上げます。



創立百周年『記念事業』について

学 校 長 池 田 延 己
同窓会名誉会長

私学の使命は、建学の精神に基づき、その独自性と特色教育を実践できるかどうかにあると考えています。『人は社会で生きる力を持たなければならぬ。技術を身につけ、自立に向けた資格を取得させ、地域社会に貢献する有為な人材の育成が本校の使命である。』として、大正十三年、外山ハツ校長先生は大妻高校を創立しました。「資格は生きる力なり」です。また、やれば出来る、挫けず、諦めずに目標に向かって突き進む、『不撓不屈の精神』を生徒に求め続けました。

伝統は連綿と受け継がれ、五年後の平成三十五年十月五日に創立百周年『記念式典』を挙げる予定です。現在、創立百周年『記念事業』として、人材養成のための「教育環境の充実と整備」に向けた工事が先行実施されています。平成二十五年に完成した本校舎の第一期工事に続き、第二期の工事がこの三月に着工されました。西側校舎の改修と東側校舎に多目的教室を増築、更に図書室の移転改築などです。完成は十一月の予定

です。

築四十年を経過した西側校舎は、耐震診断における構造上の問題は無いのですが、施設・設備・備品の老朽化が指摘されていたことや、時代の変遷に併せて電子黒板やプロジェクション用のプロジェクタの設置など、視覚教材や電子機器を活用できる教室の新設も求められておりました。特に近年は、朝読書の影響や図書係の先生・生徒の活躍で、読書に対する気運が高まり、図書室の充実も指摘されていきました。開放感溢れる図書室パソコンを導入して調べ学習や自学習ができる図書室、蔵書数の増加とデータベース化などです。また、施設・設備やインテリアなどについては、既存の概念にとらわれ過ぎないようプロジェクトチームを編成し、より良い施設にするために意見交換を繰り返しながら設計を進めてきました。

少子化で卒業者が減少していくのになぜ工事を行うのか、という疑問をお持ちの方もおられるかも知れませんが、答えは二つです。地域に根ざし、存在感のある学校

としてあり続けるために、教育環境の充実を図っていく必要があることと、質の高い職業教育を提供し続けるためには、実践のための施設・設備の更新・整備が必要不可欠だと言うことです。図書室についても、大学入試における文章題をはじめとして、近年その重要性が声高に叫ばれています。本に触れ、読書を通して自分の考えを持ち、自分を表現できる高校生であるためにも、図書室の重要性をご理解いただけたと思います。

百周年後の、次の世代に向けた教育環境の整備も視野に着工してきましたが、これからは中身も問われることとなります。先生方には、より一層、生徒の潜在能力を開花させ、社会で生き抜くための確かな技術の習得と、時代に即応した資格の取得を目指した教育内容の充実と覚悟が求められることとなります。これからは、「与える教育から、与えながら支える教育」への転換を図りつつ、建学の精神と校風を重んじて大妻高校の発展に努めたいと思っております。最後に『創立百周年』記念事業についてのお願いです。大妻高校同窓会で寄付金の募集を行っています。一口三千円からです。家計の許す範囲で結構です。一口でも二口でもご寄付いただければと思

います。ご協力をよろしくお願いいたします。



大妻学園および工事関係者による校舎増改築工事「安全祈願祭」
平成30年2月20日 於 講堂

第五十回記念

創作手工芸展(東京都美術館)を鑑賞して

― 外山ハツ先生の日本刺繍が特別展示 ―

山内 セイ子

S 32年卒業(旧姓 笠島)

大妻高校に飾られていた外山ハツ先生の日本刺繍二点(白牡丹・鶏)が、一昨年六月大妻高校で講演された大妻女子大学前理事長で、日本手工芸作家連合会会長でもある花村邦昭氏の目にとまり、「函館大妻高等学校所蔵作品」として第五十回創作手工芸展(東京都美術館)に出展されました。幸運でも鑑賞する機会がありましたので、所感の一端を述べたいと思います。受付で記帳すると「わざわざ函館からおいでになったのですか」と声をかけられ、ついハツ先生との関係をお話しました。二つの会場に世界各国の刺繍をはじめ人形・染色・編物・織物・陶芸・瓶細工など二〇〇点以上が陳列され、日本手工芸の技術の粋を集めたと言っても過言ではないハイレベルな作品を目のあたりにし、その見事さに息をのみました。しかしその中でも私にはハツ先生の日本刺繍が一際異彩を放っているように見えました。牡丹の花びら・葉は細かく丹精な針目で絹糸のつやを生かし一枚の朱子のような滑らか

さ、鶏の羽根・頭・トサカ、それぞれの緻密な刺し方が作品を引き締めることに高めており、正に日本刺繍の真髄を見る思いでした。また葉津子の文字と落款風に刺繍されている外山の文字も印象的でした。傍らの説明書には大正時代の大妻技芸学校のレベルの高さが感じられ、当時の女子学生たちの手芸に対する真剣な思いが伝わってくると記されていました。作品に見入っていると受付の方が元大妻女子大学教授で現在は花村会長と共に手工芸展に携わっておられる石井とめ子氏を伴ってご挨拶に来られ、恐縮し緊張する場面もありましたが、い



「鶏」

ろいろ解説して下さった中で瓶細工について貴重なお話を伺いました。

大妻女子大学学長大妻コタカ先生が、布製の鯛を入れた瓶細工を製作し、戦前皇室(明治天皇)に献上された記述が残っており、その後コタカ先生の教えを汲む瓶細工が英国のエリザベス女王、オランダの王妃、モナコの王妃(グレースケリー)などに次々と献上されたということです。

また秋篠宮妃殿下紀子様のご来場になりハツ先生の日本刺繍の前でしばらく立ち止まって鑑賞されていたそうです。紀子様はご案内した石井氏に熱心に質問され、今回大妻コタカ賞を受賞した「津軽こぎん刺し」について「美しいグラデーションですね」と感想を述べられたと聞き、ふと数年前奈良国立博物館(秋の正倉院展)を訪れた際に鑑賞のため滞在していた秋篠宮ご夫妻と偶然同宿となり、玄関でお見送りしたことを思い出しました。あらためて宮様が美術工芸全般について造詣の深い方であることを確信いたしました。

遠い昔、大妻高校在学中に手芸の基礎(フランス・ドロンワーク・日本刺繍、染色、レース編など)を習得したお陰で、この度も作品に深い関心を持つことができ、創った人の苦労や人となり、人生まで偲ばれ更に作品が生まれた歴史、風土、背景などが織り込まれ

ていると思うと興味が尽きず誠に幸せな時間を享受することができました。全国各地で親から子へ、師から弟子へと受け継がれた「ものづくり文化」が今再び見直されてきているということは、人々の強い絆や熱い想いがその根底にあるのだと痛感しました。

最後に、外山ハツ先生の日本刺繍は「白牡丹・鶏」のほか大正十一年に製作された「櫻下の孔雀刺繍額」など十点程が大妻高校に常時展示されているそうです。是非、実物のご鑑賞をおすすめします。



「白牡丹」



第50回創作手工芸展

平成29年度 同窓会総会・親睦会

平成29年 7 月 1 日 (土) 於 花びしホテル



ハイ、チーズ!!



感謝の気持ちを花束に込めて



ハイ、ピース!!



西野鷹志経営顧問



池田延己理事長先生



佐々木香PTA会長



相談役の田中芳博教頭先生



総会議長団



久しぶり、元気だった?



えっ、何が始まるの?



ステキな姿に拍手喝采



負けたくない



ガンバレ!! ガンバレ!!



新採用のお二人です



重さを当てて下さいね



校歌斉唱



ジャンケン、しょ!!



丸山先生、早く早く!!



景品ゲットだぜ!!



お腹すいたー



いよいよ決勝です



これからどうします?

本間ち江先生を偲んで



変わらぬ笑顔でピースサイン

同窓会相談役として同窓会はもとより、母校のためにご尽力くださった本間ち江先生が、平成二十九年四月四日、八十八歳でお亡くなりになりました。いつも明るくステキな笑顔とよく通る声で元気づけてくださったち江先生……母校百周年には、みんな一緒に祝いましょうと力強く声掛けくださったただに残念でなりません。ち江先生ならきっと遠い所からではなく、すぐそばで私達を見守ってくださっていると思いますので、先生の教えに恥じぬよう、大妻高校同窓生として頑張つてまいりたいと思います。ち江先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

▶セラー服に身を包み
乙女姿でステージへ



▶母校校歌に
思いを込めて



▶西野経営顧問と
いっしょに



母校創立百周年記念事業寄付金ご芳名一覧

(敬称略・五十音順)

百周年に向けてご寄付いただき、心より感謝申し上げます。今後とも皆さまのお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

寄付 二〇一三年十月六日から二〇一八年三月三十一日まで

赤沼 信子	笠嶋 満里子	佐藤 真由美	土居 祥江	松永 真由美
赤羽 初音	金子 梨枝	佐藤 ミエ	巴 正子	馬村 久美子
浅川 和子	上井 順子	澤田 美子	中島 奈々絵	丸山 愛子
油野 潮子	上村 澄子	塩川 みつえ	中根 里穂	三浦 久美子
荒木 伴子	神谷 菊枝	清水 悦子	長浜 秀子	水上 力子
荒木 ヨリ子	神谷 慶子	菅原 富久子	永平 悦子	水谷 成子
荒谷 和子	神田 幸子	杉本 幸子	中山 スギ子	三井 幸子
安藤 エツ子	神田 千鶴子	鈴木 セツ子	成田 千紘	宮木 清子
安藤 靖子	北浦 早苗	砂田 暁	西川 サ子	宮崎 将江
池田 靖子	北立 真理子	関口 信子	西川 和子	宮嶋 和子
石栗 美津子	北山 敏子	高野 正子	野呂 紀子	柳上 和子
伊藤 セツ子	工藤 征子	高橋 天衣香	濱田 キヨ子	最上 テル子
伊藤 チセ	久保 朝子	竹内 美香	濱野 セイ子	矢野 裕子
伊藤 典子	小坂 ユリ子	竹内 樹子	林 東美	矢萩 美津子
岩崎 典子	小坂 麗子	竹中 恵子	林 幸子	山口 セイ子
上嶋 サキ	越山 智恵子	多田 成子	林 幸子	山口 キエ子
海老原 久美子	遠藤 ハツミ	谷口 ナミ	藤崎 美津代	山下 ヨコ子
大木 キヨミ	大坂 克子	谷藤 ナミ	吉田 敦子	山田 ヨコ子
大田 幸美	岡田 幸美	玉原 咲玉	吉田 千代子	吉田 千代子
尾形 保子	岡部 保子	玉利 晴美	若林 美和子	吉田 美和子
奥成 友美	境田 能富子	塚本 千鶴子	協本 テイ子	渡辺 晴子
小野 千佳子	境谷 かず子	土谷 敏子	渡辺 瑞穂	渡辺 瑞穂
加賀谷 美江子	加賀谷 美江子	手代森 捺音子	松岡 喜子	松岡 喜子
加賀谷 エ子	佐藤 栄子	寺本 鋭子	松岡 喜子	松岡 喜子
葛西 淳子	佐藤 豊子	寺本 鋭子	松岡 喜子	松岡 喜子



第46回 函館大妻高等学校同窓会札幌支部総会
平成29年5月13日 於 札幌サンプラザ



日高支部長
岡田 代志子
S 48年卒業(旧姓中井)

日高支部交流会のご案内

まだまだ寒い日が続いてお
りますが、同窓生の皆様におかれ
ましては、お健やかに過ごされ
のこととお喜び申し上げます。
一昨年の日高支部創立五十周
年の交流会には、多数の同窓生
の方々のご出席をいただきまし

たこと、心より感謝申し上げま
す。

さて、今年九月七日(金)、二
年ぶりに日高支部の交流会を開
催する事となりました。役員一
同準備を進めておりますので、
お一人でも多くの方々のご出席
をお待ちいたしております。秋
の日高路で皆様と楽しい一時を
過ごしたいと思っております。
最後になりますが、母校の
益々のご発展と同窓会の皆様の
ご健勝をご祈念申し上げます。



第32回 函館大妻高等学校同窓会東京支部総会
平成29年6月10日 於 京王プラザホテル

同窓会本部掲示板

平成30年度バザーのお知らせ

- ・手づくり品販売…平成30年7月7日(土)
同窓会総会当日：花びしホテルにて
 - ・食品販売…平成30年7月15日(日)
大妻祭当日：大妻高校にて
 - ・物品販売…同上(大妻祭にて)
- ※今年も物品販売によるバザーを開催しますので、皆様のご
協力をよろしくお願いいたします。
連絡先：大田(090-6991-9431)

手づくり会のお知らせ

同窓会では、母校創立100周年に向けて、手づくりの小物等
を作り、同窓会総会当日に販売しています。1人でも多くの
方のご参加をお待ちしております。手づくり作品の送付も受
付けております。

期 間：2月～11月までの毎月第3土曜日
場 所：母校・大妻会館 時間：午前10時～午後3時
連絡先：佐藤(090-3392-7831)

支部総会のご案内

●札幌支部

日 時 平成30年 5 月19日(土)午前11時～
場 所 札幌サンプラザホテル
会費5,000円
連絡先 吉田 富子(S 23年卒業)
TEL 0133-73-3208

●東京支部

日 時 平成30年 6 月 2 日(土)正午12時～
場 所 京王プラザホテル
会費8,500円
連絡先 杉本 幸子(S 33年卒業)
TEL 03-3875-0902

●日高支部

日 時 平成30年 9 月 7 日(金)午後 6 時～
場 所 優駿ビレッジ「アエル」
会費8,000円(写真代含む)
連絡先 岡田代志子(S 48年卒業)
TEL 0146-28-1837

会報「いとぐるま」の郵送には、皆様からの年会費が必要です

これまでも同窓生の皆様には、多大なご協力をい
ただいてまいりましたが、平成23年7月の同窓会
総会にて決議された通り、26年度より、以下の方
のみに「いとぐるま」を郵送しております。

- ・年会費、寄付金を送金くださった方
- ・総会・親睦会に出席くださった方
- ・同窓会にご協力くださった方
- ・新入会員で母校卒業後10年以内の方
(在校中に維持費7,200円をいただいているため)

「函館大妻高等学校」のホームページの一
下の「いとぐるま」(バナー)をクリックする
と本年度だけではなく、歴代のいとぐるまも閲
覧できますので、是非ご覧ください。

母校創立百周年にむけて、今後ともご支援ご
協力くださいますようよろしくお願い申し上
げます。

<http://www.hakodate-otsuma.ed.jp>

福祉科

平成二十九年十一月九日(木)、本校講堂において「介護の日制定記念フォーラム」が行われました。障害者支援センターばすてる河村吉造所長の基調講演「みんな違って当たり前」では障がいの有無に関わらず、平等に生きていくことの大切さが話されました。また、地域支援ユニバーサルコミュニケーション小林文代代表の講習会「言語聴覚士の仕事」他職種連携がキホン」では、言語聴覚士の仕事内容やその必要性、関連職種や地域との連携が必要だという事が話され、生徒たちはお二人のお話に真剣に耳を傾けていました。



言葉を使わず相手に伝えるって難しい!!

家政科

平成三十年二月二十四日(土)、シエスタハコダテ四階Gスクエアにおいて「2018 Dressing Room〜kaseika 5th anniversary〜」が開催されました。この催しはコース改編五周年を記念して、本校の原点である縫製の精神と技術を生かした作品を製作し、ファッション造形コースの学習内容と専門教育の成果を発表したいという目的で行われたものです。当日は立ち見もできるほどの盛況の中、モデルを務めた三十三名の生徒たちは自分たちでデザインした衣装を身に付け、堂々と披露をしていました。



華やかなドレスに歓声が上がりました

トピックス

普通科

平成二十九年十月から十二月にかけて、普通科二年生が総合的な学習の時間を使い、「体験学習&職業体験」を行いました。これは、市内の上級学校を訪問することで、進路に対する意識を向上させ、三年生から本格化するオープンキャンパスにも積極的に参加することを目指し行われたものです。市内にない分野に関しては、職業体験という形で、函館市青年センターで行われた「じもと×しごと発見フェア」に参加となりました。自衛隊や警察を含む十五の企業が出展し、実演や体験を通して仕事内容を知ることができ、生徒たちにとっては、自分の将来について考える良い機会となったようです。



函館短期大学にもお邪魔しました

食物健康科

平成三十年一月二十日(土)、食物健康科三年生が先生方へ三年間の感謝の気持ちを含めて、コース料理を振る舞いました。学科開設以来の伝統行事で、今春卒業の八期生は日本料理の献立に挑戦しました。試作段階では何度も失敗し、悔しい思いをしましたが、先生方への思いが伝わる料理とは何かを真剣に考え、時には激しく意見交換をしながらも、失敗から目を逸らさず反省し、試作を重ねてきました。本番では料理班とサービス班との連携も大成功し、次々と料理がタイミングよく運ばれました。結びの料理長の挨拶では、諦めずにやり遂げた達成感が満ち溢れ、生徒たちの成長を感じることができたひと時でした。



椀物



料理長から心のこもった挨拶

ご 案 内

平成30年度 同窓会総会・親睦会のご案内

日 時 平成30年 7月 7日 (第1土曜日)
 総 会 PM 5:00 親睦会 PM 6:00
 会 場 花びしホテル ☎0138-57-0131 (函館市湯川町1-16-18)
 会 費 6,000円 但し、新入会員は3,000円
 (温泉にご入浴もできます)
 申 込 平成30年 6月22日までに同封の振込用紙でお申込みくだ
 さい。宿泊申し込みは、
 同窓会副会長 佐藤 (090-3392-7831) まで
 ※カメラ等は、各自でご用意下さい。
 ※6月30日以降の取消は会費をお返しできませんのでご了承下さい。

申し込み連絡先

◎同窓会事務局
 工藤真知子(教諭)
 〒040-0002
 函館市柳町14番23号
 電 話 (0138) 52-1890
 FAX (0138) 52-1892
 大妻高校内
 当番幹事 同窓会役員

「年会費」のお願い

年会費は「いとぐるま」の郵送
 や各支部助成金等に充てられ
 ます。本年度も多くの方々
 のご協力・ご送金をよろしくお
 願いいたします。

❖❖❖ 年会費集計状況 ❖❖❖
 皆様のご協力ありがとうございます

平成29年度
210,000円
 (平成29年12月31日現在)

●編集委員

大田 幸美
 平田 優子

川原 ヒサ
 本間 節子

森 雪恵
 佐藤 真由美

幹 常任幹事
 事 事

家 家政科
 家 福祉科
 食 健康科
 普 普通科

工 藤 ひとる
 荒 涼 香
 藤 華 月
 池 愛 翠
 原 佳

☆平成二十九年度卒業 同窓会幹事☆

●編集後記

今年の冬は記録的な大雪となり、
 大妻高校の前の道路に「わだち」が
 できているのを見て、高校生の頃、
 長ぐつをはいて登校していたのを思
 い出しました。ドッサリあつた雪も
 いつの間にか融けてなくなり、春を
 迎えた今、新年度も頑張っていきた
 いと思っています。
 お忙しい中、ご寄稿下さいました
 皆様に心よりお礼を申し上げます。
 ありがとうございます。(大田 記)

平成28年度 函館大妻高等学校同窓会収支決算書

【収入の部】 (平成28年4月～平成29年3月)

項 目	予 算 額	決 算 額	増 △ 減
1 維持費	916,800	902,200	△ 14,600
2 入会金	134,000	134,000	0
3 年会費	300,000	228,000	△ 72,000
4 福利厚生事業収益金	100,000	131,171	31,171
5 預金利息	300	5	△ 295
6 雑収入	0	0	0
7 前年度繰越金	464,868	464,868	0
合 計	1,915,968	1,860,244	△ 55,724

【支出の部】

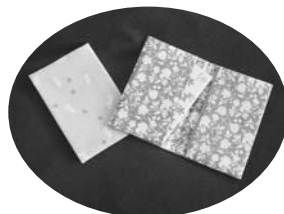
項 目	予 算 額	決 算 額	増 △ 減
1 総会費	50,000	50,000	0
2 会議費	10,000	5,686	△ 4,314
3 事務費	25,000	25,840	840
4 会報発刊	260,000	244,877	△ 15,123
5 活動費	50,000	45,319	△ 4,681
6 慶弔費	130,000	174,246	44,246
7 出張費	150,000	150,100	100
8 支部助成金	240,000	234,080	△ 5,920
9 記念品	150,000	130,824	△ 19,176
10 積立金	500,000	400,000	△ 100,000
11 予備費	350,968	0	△ 350,968
12 次年度繰越金	0	399,272	399,272
合 計	1,915,968	1,860,244	△ 55,724

※会計監査実施の日程上、前年度の収支決算書を掲載

平成29年度バザー売上金

手づくり品販売収益金(同窓会総会にて) **82,409円**
 食品販売収益金(大妻祭にて) **124,913円**
 物品販売収益金(大妻祭にて) **28,430円**
 ご協力ありがとうございました。 **合計 235,752円**

感謝をこめて



本年度、年会費や寄付金を送金
 して下さった同窓生の皆様には
 「通帳入れ」を同封させていただきました。
 役員一同、心を込めて手作りし
 たものですので、どうぞお受け取
 りください。